

## 記者発表資料

# 大規模災害に備え災害対策用機械の 操作講習会を実施します。

国土交通省では、震災や洪水被害等に対応するための災害対策用機械を保有しています。その災害対策用機械は、国土交通省の直轄施設の災害対応に使用するだけでなく、地方公共団体からの要請により、全国に派遣を行っております。

そのため、いつでも災害対策用機械を適切に運用・操作できるよう、栃木県内の直轄事務所の職員、地方公共団体の職員、災害協定会社の皆様を対象に講習指導を行っており、今年度も下記のとおり実施致します。

### 記

- 実施日時 平成24年6月12日(火) 13:00~16:15
- 実施場所 鬼怒川・真岡地区河川防災ステーション  
栃木県真岡市若旅(別紙会場図参照)
- 講習内容 別紙1のとおり

※報道機関の皆様へ：災害対策用機械の操作(実技)の取材が可能です。



## 発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、栃木県政記者クラブ

## 問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 宇都宮国道事務所

電話 028-638-2181 (代表)

副所長 しみず のぶお  
清水 信男

たかはし すずむ  
管理第二課長 高橋 進

## 災害対策用機械操作講習

1. 日 時 平成24年6月12日（火） 13時00分から16時15分まで
2. 場 所 鬼怒川・真岡地区河川防災ステーション  
栃木県真岡市若旅（別紙地図参照）
3. 主 催 国土交通省 関東地方整備局
4. 目 的 この操作講習会は、災害発生時に、国交省職員及び災害協定会社、自治体職員が災害対策用機械を迅速に出動させ操作することで、災害復旧活動を円滑に実施できるようにするものです。
5. 内 容
- |       |             |
|-------|-------------|
| 集合・受付 | 13:00～13:30 |
| 開会    | 13:30～13:45 |
| 講習    | 13:45～16:00 |
| 質疑    | 16:00～16:15 |
| 閉会    | 16:15       |
6. 使用機械 対策本部車（拡幅型）、待機支援車（9床式）、照明車、Ku-SAT（小型衛星画像伝送装置）

# 会場図



※車でお越しの際は、駐車場を用意しておりますので、会場の誘導に従い駐車して下さい。

## 対 対策本部車(拡幅型)

災害発生時に現場へ出勤し、対策本部として情報収集、復旧作業の指揮、対策検討や他の機関との連絡等を行う拠点となります。衛星携帯電話・FAXを装備し、現場で情報の発信・収集ができます。1給油あたり約60時間の待機運転が可能です。



車両側部が拡張できる構造で、拡張時には約25m<sup>2</sup>のスペースが確保でき、大きな図面等を広げながら打ち合わせもできます。



2台の車両を連結することにより、最大約50m<sup>2</sup>のスペースを確保できます。

### 設置条件

- 進入路は幅3.5m程度必要です。
- 設置場所には、幅7.5m×長さ12.0m程度の水平なエリアが必要です。
- 使用燃料：軽油

### 装備

- 通信設備/400MHz帯多重無線、400MHz帯移動電話、150MHz帯超短波無線、VHF-B3放送受信装置、パソコン通信、写真電送装置、FAX ● 電源設備/突動発電機、無停電電源装置 ● その他/空調設備、会議用テーブル、テレビ、ビデオ、ビデオカメラ
- 車両の大きさ(参考) 車両時：全高約3.8m/全長約8.1m/全幅約2.5m  
拡幅時：全高約3.8m/全長約10.1m/全幅約5.4m

## 待 待機支援車

収納式ベッド、トイレ設備を装備しており災害現場で復旧作業に携わる人々の休憩、仮眠、宿泊施設として機能します。トイレ・暖房・エアコン等が装備されており、長期的な支援が可能です。1給油あたり約7時間の待機運転が可能です。



トイレ等の生活設備を備えています。



車内は、最大9人までの仮眠が可能です。

### 設置条件

- 進入路は幅3.5m程度必要です。
- 設置場所には、幅3.5m×長さ9.0m程度の水平なエリアが必要です。
- 使用燃料 車両：軽油 発電機：ガソリン

### 装備

- 通信設備/無し ● 電源設備/突動発電機 ● その他/テレビ、ビデオ、ラジオ、トイレ、シャワー室
- 車両の大きさ(参考) 車両時：全高約3.4m/全長約8.5m/全幅約2.5m

## 使用機械概要

# 照明車

夜間作業時に災害現場を明るく照らし、災害復旧などを安全に行えるようにするほか、避難所等の照明として設置することもできます。また、発電機を装備しているため電源供給も行えます。1給油あたり約26時間（全灯時）の運転が可能です。



投光器は最大で20.3mの地上高まで作業を行うことができます。



格納時、操作ミス防止のため半自動制御方式となっており、スイッチひとつで格納ができます。

### 設置条件

- 進入路は幅3.0m程度必要です。
- 設置場所には、幅5.0m×長さ9.0m程度の水平なエリアが必要です。
- 使用燃料：軽油

### 装備

- 通信設備／無し
- 照明設備／形式：3段全油圧伸縮式および最上段油圧折り曲げ式。照明灯出力：2,000W×6灯 ランプ配列：3列2段 制御装置：自動検出・格納装置、オートアクセル装置
- 車両の大きさ（参考） 車両時：全高約3.3m／全長約6.6m／全幅約2.1m／アウトリガ最大張出約3.5m

## Ku-SAT (衛星小型画像伝送装置)

・災害時において地上回線が不通となった場合や、緊急通信・災害復旧通信等、災害現場との通信の確保が必要となったときに、災害現場から災害対策本部間の回線設定を行い、被災状況把握や復旧作業を円滑に行うために電話や被災地映像を配信する機能を備えています。



### 【特徴】

- ◎通信衛星を利用して災害現場の映像を送信又は受信する小型の衛星通信装置です。
- ◎小型なので、ライトバンで運搬可能です。設営は、約15分で可能です。
- ◎無線従事者の国家資格をもっていなくても、操作運営ができます。
- ◎電話と画像の送受信は同時にできます。